

DVDの新作が入りました

- ▶ ノンタンシリーズ『はみがきしゅこしゅこ』
- ▶ 『トムとジェリー 夢のチョコレート工場』
- ▶ 『愛を積むひと』
- ▶ 『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 など

※ 7/19(金)～9/1(日)の期間、催事室は臨時学習室として利用できます。
(ただし8/6(火)～8(木)、8/16(金)は図書館行事のため利用できません)
図書館をご利用ください

リサイクル・フェア

▶ 7月15日 9:30～12:00
図書館で不要となった雑誌を無料で配付します。1人につき雑誌は5冊、英字新聞は1束までに限ります。

読み聞かせまつり～おはなし好きな子よっといで！～

▶ 7月27日 13:30～16:30 **入場 無料**
毎年人気の催しを今年は夏休みに開催します。ボランティアによる絵本の読み聞かせや、歌ありパネルシアターありの楽しんでいただける内容となっています。

新着図書から

『かがくのとものもと』 **一般書**
▶ 福音館書店 (019.5/カ)
創刊50周年を迎えた月刊の科学絵本『かがくのとも』。科学絵本というと「勉強するためのもの」と難しく思われがちですが、楽しくて面白い絵本です。これまでの601作品すべての表紙とあらすじ、1冊の本が出来上がるまでの過程を紹介しています。

『中西進の万葉みらい塾』 **ティーンズ**
▶ 中西進 / 著
▶ 朝日新聞出版 (J911/ナ)
万葉集研究の第一人者である著者は全国の小中学校で万葉集についての授業をしています。本書はその授業の様子がそのままとめたものです。声に出して読むとリズムがおもしろい歌や文字遊びをしている歌など、子どもたちにもわかるように紹介しています。「令和」を迎えた今、改めて万葉集の世界に触れてみてはいかがでしょうか。

『しょうがっこうがだいすき』 **児童書**
▶ うい / 作
▶ えがしらみちこ / 絵
▶ 学研プラス (E/エ)
この本は小学2年生の女の子が書いた絵本です。自身の経験をもとにした現役小学生ならではの新生児へのアドバイスをしています。1年生のお子さんはもちろん、これから入学するお子さんも、かつては小学生だった大人のみなさんも、ぜひご一読ください。

7月 図書館カレンダー
CALENDAR

1月 休館日
2 火
3 水
4 木
5 金
6 土
7 日
8月 休館日
9 火
10 水
11 木 16:00～ 英語のおはなし会
12 金
13 土 13:30～ 民話かたり 14:00～ 楽しいおはなし会
14 日
15 月 9:30～ リサイクル・フェア
16 火
17 水
18 木
19 金
20 土
21 日
22 月 休館日
23 火 休館日
24 水
25 木
26 金
27 土 13:30～ 読み聞かせまつり
28 日
29 月 休館日
30 火
31 水

展示 「そういえばあの英雄は？」
▶ 7月21日まで

絵・立体作品の展示
▶ 7月13日から21日まで

パステルアート
▶ 7月28日から8月4日まで

郷土史・風俗

第64回 菰野と力士

郷土の力士

相撲の人氣が高まり、村々で草相撲が盛んになると筋骨たくましい力自慢の若者が相撲取りに入門しました。なかでも榊(中脇)出身の鱧(ひれ)は、寛政6年(1794)江戸大相撲の関脇に昇進、浜御殿で将軍上覧相撲に出場、体格が人並み以上にすぐれた看板力士でした。同じく寛政の頃、水沢出身の伊勢が浜荻右衛門は、前頭にのぼりました。同8年に引退、その後は、伊勢国の相撲頭取となり、後進の指導にあたりました。竹成出身の鳥羽海は、安政の頃(1854)に活躍しました。また、幕末から明治初年の頃、活躍した力士に西菰野村出身の増位山があります。菰野や智積で大相撲興行の勧進元になり、引退後も地方相撲の指導にとめました。

▶ 伊勢が浜頭取の碑

地方頭取

菰野藩主お抱え力士の伊勢が浜は、引退後も「地方頭取」の免許を授けられ、江戸・上方大相撲が地方で興行する際は、勧進元として相撲一切の取り仕切りの役を果たしていました。その後、伊勢が浜の名跡は代々受け継がれ、伊勢国の相撲界の発展に寄与しました。その後、改勢組を結成し、その頭取は「寛政4年9月5日」の日付のある帳箱を申し送り、連綿として継続され、古い免許状、番付帳などの文書を大切に伝承して来ました。

※「頭取」力士を取りまとめ興行に参加する人



町長のひとりごと



Theme 04 子どもたちを守るために

本年5月には、子どもの安全を脅かすような交通事故や事件が全国各地で立て続けに起きました。こういった事故や事件を契機に当町でも検討すべきだと感じたのが、町内の主要な交差点の安全対策です。一例としてあげるなら、国道306号と国道477号が交差する菰野交差点は登下校時にたくさんの子どもの通断をする一方、登校時には通勤等の時間が重なるため自動車の交通量も増加します。改めて菰野交差点周辺を歩き確認しましたが、さまざまな安全対策が講じられていたものの、安心という観点では疑問が残り、通学路の再点検などさまざまな視点での検討も必要ではないかと感じました。

また、子どもを犯罪から守るこ

とも重要です。菰野町には今も新しい住宅地ができ、人口が少しずつ増えている中、新たに形成されたコミュニティの中ではお互いの顔を知らないことやまだ住民同士の関係性が希薄なことなど、どうしても周囲の目が行き届きにくい部分があるかと思えます。そういった部分を警察や地域の皆さんと連携して、見守っていく必要があります。

そして、交通事故や犯罪から子どもたちを守るために、子どもたちの最も身近な存在である保護者の方々の協力も欠かすことはできません。行政や地域の皆さんとともに、子どもたちの安全のため、今後も一層のご協力をお願いいたします。